予算総額＝94億4,625万円

新しい年度が始まりました。昭和五十六年度――四月から向こう一年間の市政の基本となる予算のあらましをご紹介します。予算総額は九十四億四千六百二十五万円で、(1)市民の暮らしの周辺の環境整備(2)市民の福祉と健康を守り高める(3)教育と文化の充実の三項目を柱として、市民のすべてが安心して暮らせる福祉のまちづくりと文化と教育のかおり高い都市の建設をめざした予算となっています。

一般会計　六十三億四百五十万円

「市民のくらしを守る」ことを最重点に

歳出

歳出予算とは、一年間の収入を見込んだうえで、何のためにお金をどう使っていくかをきめるものです。

五十六年度の一般会計予算額は、六十三億四百五十万円で、目的別にみてみますと民生費＝十四億二千六百四十八万円で、全体の二二・六%、土木費＝九億二千六百五十万円で一四・七%、総務費＝八億五千四百二十三万円で一三・五%、衛生費＝八億三千七十四万円で一三・二%、教育費＝八億二千九百二十九万円で一三・二%、公債費＝五億八千四百十三万円で九・三%、消防費＝五億一千二百六十八万円で八・一%……などとなっています。

主な新規事業は、▼阪急東向日駅前および周辺整備のための調査研究 ▼市民いこいの場として、ひまわり公園新設 ▼大型店対策融資保証料の補給 ▼乳がん検診の実施 ▼コミュニティー促進のため、集会所建設に対する補助 ▼ねたきり老人家庭看護訪問指導 ▼重度障害者に福祉タクシー制度の実施 ▼市民会館に身体障害者用トイレ新設 ▼寺戸公民館の建設 など十七件です。

歳入

歳入予算とは、市が行ういろいろな事業をまかなう財源をいいます。

歳入の主なものは、市税、国・府支出金および市債です。市税は三十五億一千七百九十一万円で、全体の五五・八%、地方交付税は十億七千万円で一七%、国庫支出金は六億三千八百三十八万円で一〇・一%、市債は三億四千六百万円で五・五%、府支出金は二億六千五百七十九万円で四・二%などです。

五十六年度は、引き続く厳しい社会情勢の中で、市の台所事情も例年以上に厳しいものとなっています。

このため、市税などの自主財源の確保を図るとともに、国・府に対し、実態に即応した地方税財政制度の確立など、引き続き財源確保について強く要望していきます。

教育と文化の充実

教育

▷交通指導員を配置	182万円
▷児童の各種検診	423万円
▷各小学校施設の整備	1,700万円
▷教材備品の充実	2,271万円
▷修学旅行、遠足に補助	621万円
▷私立幼稚園設備などに補助	44万円
▷私立幼稚園児教材費補助を拡大	2,340万円
▷幼稚園就園奨励費補助	3,417万円

スポーツ

▷各種スポーツ教室の充実・（財）社会体育振興会などに助成	743万円
▷'63京都国体にむけての準備（新規）	20万円

文化

▷婦人会・子供会などの育成と人形劇・高齢者教室等の充実	411万円
▷既存公民館講座の充実と鶏冠井・上植野公民館の運営	952万円
▷寺戸公民館の建設（新規）	100万円
▷向日市まつりを開催	250万円
▷市のうた・音頭の普及（新規）	26万円

歴史

▷市史編さん事業の推進	1,342万円
▷埋蔵文化財の発掘調査、史跡案内板の設置	5,340万円
▷史跡等地跡の整備	4,000万円

暮らしの環境整備

防災

▷消防庁舎の建設、救急指令装置の設置など　5億1,267万円

道路・河川・公園

設・カーブミラー等の設置・道路の新び拡幅改良整備などの交通安全対策事	1億6,950万円
画街路事業の推進	1億9,659万円
修・舗装など	1,279万円
水路・小規模河川・排水路改修整備	3,700万円
り公園の新設整備（新規）	1,000万円
園・児童公園の改良整備	2,194万円

商工・農業振興

▷農業基盤の整備	3,947万円
▷転作作物の育苗、米消費拡大、学童農園の設置など	1,197万円
▷中小企業に振興資金を融資	3,460万円
▷大型店対策融資保証料補給（新規）	30万円
▷中小企業経営指導事業（新規）	30万円
▷消費生活モニターの設置、消費者大学・消費生活展の開催	117万円

まちづくり

のまちづくりのための基本計画策定を、総合計画書を作成　390万円
向日駅前および周辺整備のための調査（新規）　1,316万円

住みよいまちに

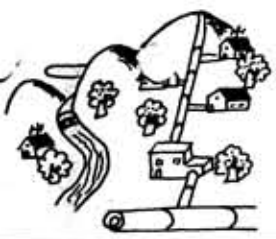
▷街路灯の増設・改修・維持管理を行う　863万円
▷自治会が建設する集会所などに補助（新規）　1,000万円
▷6区、2自治会に補助　918万円
▷市民憲章の推進・広報紙発行など　1,576万円

上水道

場建設　5億5,200万円

下水道

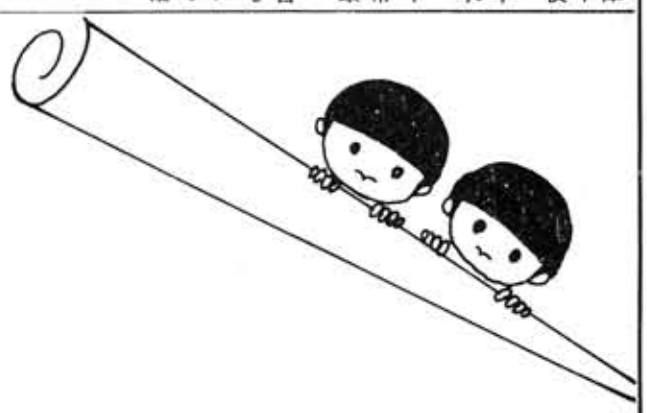
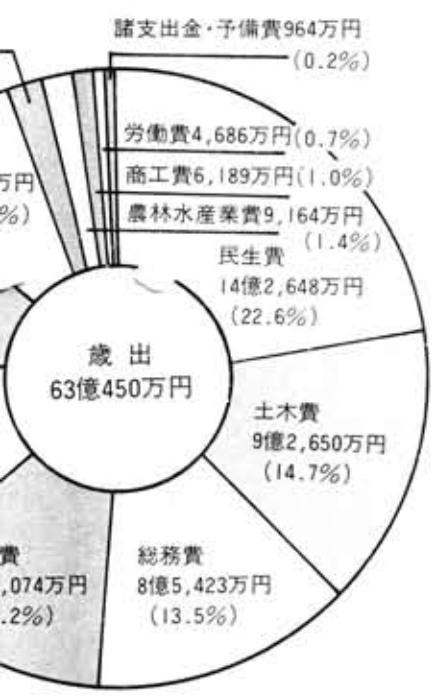
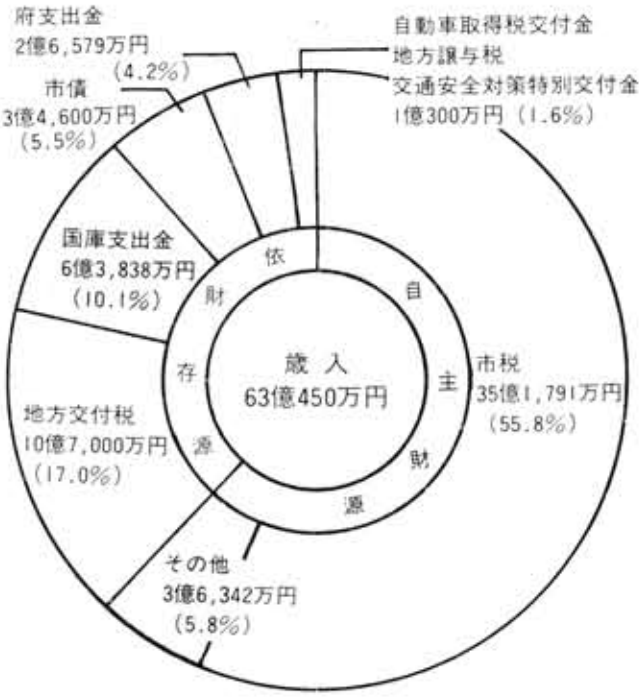
水道幹線、面的整備　8億7,726万円



清掃

▷ごみの分別収集・し尿収集体制の充実、ごみ収集車2台更新　7億601万円

図で見る予算



予算額と構成比